

2018年号

会報

一般社団法人

岡山県電業協会

Vol. 23



視 察 研 修 株式会社 研修所 安全体感施設

新春を迎えて・会長 ②

新春ご挨拶・岡山県知事 ③

社会貢献・清掃ボランティア ④

社会貢献・福祉活動・教育活動 ⑤

学校意見交換会・インターンシップ ⑥

技術研修会 ⑦

分離発注陳情 ⑧

会員行政研修会 ⑨

1級施工・講習会 ⑩

視察研修会 ⑪

全国会員大会・国交省意見交換会 ⑫

暴力追放・安全無災害運動 ⑬

電設工業展・ゴルフ交流会 ⑭

通常総会・事務局だより ⑮



新春を迎えて

人材確保と働き方改革、 電設業界！

一般社団法人 岡山県電業協会

会 長 松 岡 徹

2018年、あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご健勝にて新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

平素より、会員及び関係の皆様には、当協会の事業運営にあたり、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

我が国は今、デフレ脱却を目指す「アベノミクス」を掲げて約5年、いまだ克服出来ていない状況下、新たな看板政策「人づくり革命」と「生産性革命」が具体化されようとしています。バブル期に並ぶ高水準の税収を背景に企業利益増出、賃金上昇、消費拡大等々の景気浮揚成果を期待しているところです。

私共、電気設備工事業界を取り巻く環境は、東京オリンピックや関東を中心とした再開発計画で活況を呈しながらも、若手入職者の減少、就業者の高齢化、人材不足が深刻化している状態です。より多くの若年者の人材確保のために、企業として、生産性向上と共に、業界団体や顧客とも連携し、「働き方」を改善すべく積極的な取り組みが必要と思っております。当協会では、電気系教育機関の先生方と連携を深めると共に、インターンシップの受け入れや諸技術及び職業実践教育制度の充実を図って、優秀な人材確保にむけての施策を講じております。

いまひとつ、ひとりひとりの技能者の就業実績を蓄積し、処遇の改善や技能の研鑽を生み出す国の施策である「建設キャリアアップシステム」への対応が今年の課題であります。

そして、ささやかではありますが、福祉施設への備品寄贈や地域への清掃奉仕等の社会貢献や国・自治体に対しての各種提言や陳情等、様々な事業を継続して参ります。

社会インフラを支えながら、有能な人材が誇りを持って、従事出来るよう、更なる地位向上、環境改善、社会貢献の牽引役として、微力ではありますが、少しでもお役に立てるよう今後も皆様と共に、力を合わせて使命を果たしていく所存であります。

引き続き、関係各位の尚一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

新しい年が、皆様にとって、希望に満ちた幸多き年になりますよう、心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

〔旭電業株式会社 代表取締役社長〕



新春ご挨拶

すべての県民が
明るい笑顔で暮らす
「生き活き岡山」を目指して

岡山県 知 事 伊原木 隆太

新年あけましておめでとうございます。

年頭に当たり、県民の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年は、新たな県政推進の羅針盤である「新晴れの国おかやま生き活きプラン」をスタートさせ、本県発展の好循環のエンジンとなる「教育県岡山の復活」と「産業の振興」に加え、おかやま創生実現の加速に向けた取り組みなどを中心にさまざまな施策を推進してまいりました。

教育の再生については、昨年の全国学力・学習状況調査において、小学生の平均正答率が初めて全国平均を上回るなど成果が表れてきており、今後も、目標を高く持ちながら、教師の教える技術の向上と子どもの学習習慣の定着、子どもたちが落ち着いて学習できる環境の整備などにより、さらなる学力向上を図っていくとともに、グローバル人材の育成に向けて、留学促進に関する施策などにも積極的に取り組んでまいります。

産業の振興については、新たな企業立地が相次いで実現するなど、着実に成果を挙げており、引き続き、戦略的な企業誘致の推進や中小企業等の稼ぐ力の強化に努めてまいります。そして、喫緊の課題である人口減少問題の克服をはじめ、本県が持続的に発展するための経済力の確保や地域活力の維持に向け、市町村、企業、NPOなど多様な主体と連携し、結婚支援システム「おかやま縁むすびネット」による男女の出会いの場の創出や働き方改革等による出産・子育てしやすい環境の整備、移住・定住の促進など、「おかやま創生推進連携プロジェクト」に掲げている施策に総力を挙げて取り組んでまいります。

今年は、3月に岡山空港が開港30周年、4月には瀬戸大橋が開通30周年を迎える節目の年です。これを契機に、岡山空港については、県民の皆さまをはじめ、国内外から幅広く親しまれる空港となるよう取り組むとともに、瀬戸大橋についても、その利便性や観光資源としての価値を改めて実感していただき、一層の利用促進を図ってまいります。

新プランの下、引き続き、すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き活き岡山」の実現に向け、本県発展に向けた好循環の流れをさらに大きく確かなものとし、県民の皆さまに、「岡山はよくなった、岡山に住んでいてよかった」と実感していただける県政を力強く推し進めてまいりますので、皆さまにはご理解とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

社会貢献・清掃ボランティア

緊急連絡網を駆使し機能確認と清掃ボランティア、早朝の汗、爽快！

旭川花火大会の翌日、平成29年8月6日(日)午前7時00分より、後楽園、旭川周辺を対象に岡山地域の防災参画会員の53社74名の該当全社が参加して清掃奉仕活動を実施しました。又、平成29年11月5日(日)午前8時より、玉島溜川公園周辺を対象に倉敷及び県西部地域の防災参画会員の8社9名の該当全社が参加して清掃及び菜の花の苗の植付けの奉仕活動を実施しました。

これらの活動は、当協会が防災協定を岡山県（平成21年1月30日付け）及び岡山市（平成22年6月7日付け）並びに岡山県水道企業団（平成26年9月5日付け）との間で締結し、それに基づき防災参画会員の「災害対策緊急連絡網」が緊急時に機能するか確認すべく、併せて、召集訓練及び清掃奉仕活動を目的に毎年実施しています。



岡山：県東地域参加の全員の皆さん



岡山：親子で参加



岡山：花火大会の後始末、道路の隅までも



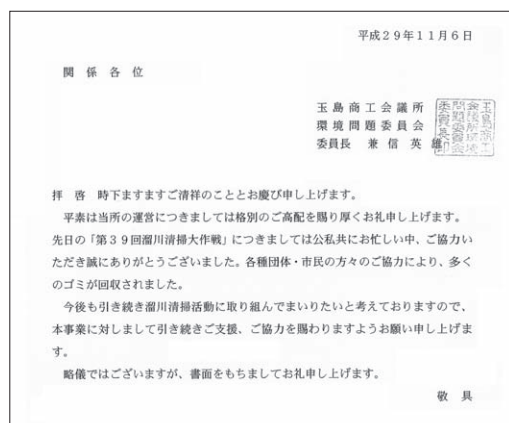
倉敷：県西地域参加の皆さん



倉敷：菜の花の植え付け



倉敷：
玉島商工会議所
環境問題委員長、兼信さん
〔太陽電機工業(株)社長〕



玉島商工会議所からのお礼状



倉敷：全員集合、開会式

社会貢献・福祉活動

社会貢献事業を喜びの笑顔と共に感謝され、23年間継続！

平成29年11月18日(土)から12月7日(木)の間、県内4ヶ所の福祉施設を対象に会員会社の協力により、電気設備の点検及び電気器具他の寄贈をしました。

この事業は平成7年以降続けて、今年で23回目となります。



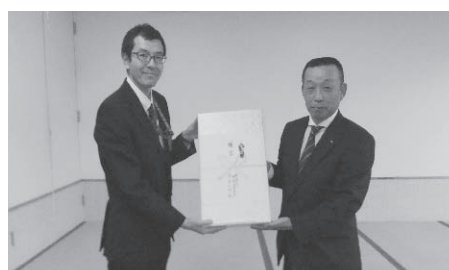
グリーンビュー鯉山：
〔右〕徳原 事務長様
〔中央〕池田電業(株) 池田社長 〔左〕高橋主任



みどり荘：
〔中央左〕亀浦 理事施設長様 〔左〕浅井 法人本部長様
〔中央右〕三恭電設(株) 瀬戸口社長 〔右〕大山専務



花岡荘：
〔左〕加戸 理事長様 〔右〕佐藤 施設長様
〔中央〕東亜電工(株) 松尾社長



恵 園：
〔左〕西本 施設長様
〔右〕旭電業(株) 本郷常務

平成29年度 社会貢献福祉活動 一覧

分担会社名	動員	贈呈先施設	贈呈品	贈呈日	
池田電業(株)	3名	医療法人 緑樹会 グループホーム「グリーンビュー鯉山」	岡山市北区吉備津1017-1	エアーマット	12/7
三恭電設(株)	3名	社会福祉法人 薫風会 特別養護老人ホーム「みどり荘」	倉敷市神田2-3-5	車椅子	11/18
東亜電工(株)	3名	社会福祉法人 吉美会 介護老人福祉施設「花岡荘」	真庭市上中津字花岡1071-1	カラオケセット	12/1
旭電業(株)	3名	社会福祉法人 恵風会 ケアハウス「恵 園」	岡山市中区今谷770-1	BRレコーダー	11/21

お礼状が届きました。

社会貢献・教育活動

専修学校の職業実践教育についてアドバイス！

岡山科学技術専門学校では、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的に、職業実践の電気工学科系専門教育課程編成に取り組んでおり、電設業界の専門的技術や人材育成の動向等について意見を反映すべく、当協会の木多総務委員(株)木多電気設備社長)と賛助会員の徳山氏(株)徳山電機製作所社長)がその編成委員会の委員に就任し活動しております。

平成29年2月15日(水)及び6月20日(火)の編成委員会議に出席しました。3年間、継続中です。



編成会議：〔右奥〕徳山委員 〔右手前〕木多委員

学校意見交換会

人材確保と育成が急務！

平成29年6月19日(月)午前10時から岡山プラザホテルにて、第27回電気学科系教育機関との意見交換会を開催し、業界側の求人と入社後の育成状況について、及び学校側の求職と教育状況について意見交換をしました。

電気学科系の学生を擁する大学・高専・高校・専門学校等17校20名の就職担当の先生方のご出席をいただき、当協会から役員・委員14名が出席しました。



活発な意見の交換
〔左〕業界側出席者 〔右〕学校側出席者

意見交換概要

1) 説明事項

- ・会員会社へのアンケートによる各会社の求人概要
- ・教育機関へのアンケートによる各学校の求職概要
- ・当協会の事業活動の概要〔会報による〕

2) 懇談概要

- ・今年度、県内の高卒就職率は過去最高を更新。建設業採用増加が後押し。
- ・来春の求人は4年連続増。「売り手市場」人手不足が深刻化。
- ・懸案の「働き方改革」は建設業全体で取り組む。
- ・インターンシップ希望校及び業界受け入れ企業が増加。
- ・業界は明るく元気でコミュニケーションのとれる人材を望む。



人材確保が急務：
松岡会長

インターンシップ

就業体験、人材確保に寄与！

平成29年7月5日(水)から8月25日(金)まで、会員の(株)中電工、旭電業(株)、(株)報国電設、三恭電設(株)の4社が岡山大学、県立東岡山工業高校、県立笠岡工業高校、県立水島工業高校、ポリテクセンター岡山の学生延べ16名を受け入れ「就業体験」を実施しました。産学連携して次代を担う人づくりを進めていくことが重要と考え、就業体験の場を提供するものです。

当協会では、平成22年から毎年実施しており、今年で8回目となります。

生徒体験感想文(抜粋)：三恭電設

私が、この研修で勉強になったことは、一人一人が協力して作業することが大切だということです。また、CADについても少し解ることができました。この研修を通じて、学校では学ぶことのできないことを習得できました。この経験を勉学や今後の進路決定に役立てていきたいと思っています。

学校長からの御礼状：報国電設

岡山県立笠岡工業高等学校 校長 文谷元信

残暑の候、貴協会ますます御隆盛のこととお喜び申し上げます。

さて、今夏実施いたしましたインターンシップに際しましては、御多忙の中、株式会社報国電設様に本校生徒を受け入れていただき、ありがとうございます。

実際の仕事の内容やその流れ、働く上での心がけややりがい等について、現場での体験を通して御指導を賜りましたことは、生徒が職業を理解し、将来の進路を考えていく上で、大変有意義な経験となりました。

本校では、豊かで人間性溢れる生徒を育てることを目標としております。そのためには、多くの実体験を通し、確かな知識と倫理観を持たせることが肝要と考えておりますので、引き続き御教示賜りますようお願いいたします。

今後とも本校教育への御理解と御支援を賜りますとともに、貴協会のますますの御発展をお祈り申し上げ、略儀ながら書中にてお礼の御挨拶に代えさせていただきます。



高所作業を初体験：報国電設



女性講師による見積実習：旭電業



大学生、高校生共に：中電工



工事現場にて：旭電業

インターンシップ受け入れ一覧

受け入れ会社名	期 間 (実働)	派遣学校名	人数
(株)中電工	平成29年8月17日～25日(7日間)	岡山大学	2名
	〃 8月17日～18日(2日間)	東岡山工業高校	2名
旭電業(株)	〃 8月16日～18日(3日間)	東岡山工業高校	4名
(株)報国電設	〃 8月7日～9日(3日間)	笠岡工業高校	2名
三恭電設(株)	〃 8月2日～8月9日(6日間)	水島工業高校	4名
	〃 7月5日～8月3日(21日間)	ポリテクセンター岡山	2名

技術研修会

電力システム改革と建設キャリアアップシステムを学ぶ！



冒頭の挨拶：松岡会長

平成29年12月12日(火)午前 9 時30分から11時30分まで岡山プラザホテルにて技術研修会を開催しました。

当日は69名が出席し、現在進行中の電力システム改革に取り組む中国電力(株)の状況及び国土交通省が主導し来年から本格運用される建設キャリアアップシステムについて研修しました。



会場風景



熱心に聴講：会員



司会：
犬養 技術委員

研修テーマ

1. 中国電力の最近の取組みについて

— 中国電力株式会社 岡山支社 副支社長 金本尚人 様 —

①電力システム改革の概況

- i 目的・電力の安定供給を確保する
 - ・電気料金を最大限抑制する
 - ・電気利用の選択肢や企業の事業機会を拡大する

- ii 変遷・第1段階：広域的運営推進機関の創設
2015年4月～

- ・第2段階：小売参入の全面自由化
2016年4月～

- ・第3段階：送配電部門の法的分離
2020年4月(予定)

②送配電部門の法的分離に向けた取組み

- i ライセンス制の導入
- ii 送配電部門の法的分離
- iii 分社化の形態
- iv 中国電力(株)の組織見直し
- v 送配電事業の法的分離に向けた工程
- vi 主な事業所の役割
- vii 新增設工事申込みの変更点等

③高レベル放射性廃棄物の処分

- i 高レベル放射性廃棄物とは
- ii 地層処分の概要と経緯
- iii 処分地選定プロセスと今後の活動



中国電力の最近の取組み：
金本講師



建設キャリアアップシステム：
松岡講師

2. 建設キャリアアップシステムの運営方針と概要について

— 一般財団法人 建設業振興基金

建設キャリアアップシステム運営準備室 松岡守雄 様 —

①建設キャリアアップシステムの概要・メリット・利用方法について

- i 建設業を取り巻く現状
(システム構築の背景)
- ii システムの狙い・概要
- iii システムによるメリット
- iv システムの利用手順
- v システムの利用料金

②今後のスケジュールと普及・利用促進に向けた取組みについて

- i 今後のスケジュール
- ii 普及・利用促進に向けた取組み
- iii 国土交通省としての取組方針
- iv 各団体への依頼事項



閉会の挨拶：福田 副技術委員長

分離発注陳情

分離発注の継続と推進の陳情！

平成29年7月11日(火)から延べ2日間、役員及び会員の協力により、岡山県庁、岡山市及び国土交通省の出先機関に対し“分離発注の継続”をお願いし、更に、分離発注に消極的な自治体を訪問し、各々の首長に“分離発注導入推進”の陳情をしました。

現在の県内の各市町村に於ける分離発注の調査結果は下表の通りです。

尚、県内での電気工事年間発注総額の90%前後は、既に分離発注を導入している国・県・市で占めております。



岡山市へ陳情



岡山県有森建築営繕課長へ陳情



赤磐市へ陳情

平成29年度 分離発注状況調査結果 (岡山県内・市町村)

	市町村名	現 状		
		原則分離発注	原則一括発注	備考
1	岡 山 市	○		
2	倉 敷 市	○		
3	津 山 市	○		
4	玉 野 市		×	
5	笠 岡 市	○		
6	井 原 市		×	
7	総 社 市	○		
8	高 梁 市	○		
9	新 見 市	○		
10	備 前 市		△	大型物件のみ
11	瀬 戸 内 市		△	3年前1件実績
12	赤 磐 市		×	
13	真 庭 市	○		
14	美 作 市		△	3年前1件実績
15	浅 口 市	○		
16	和 気 町		×	
17	早 島 町		×	
18	里 庄 町		×	
19	矢 掛 町		×	
20	新 庄 村		×	
21	鏡 野 町	○		
22	勝 央 町		×	
23	奈 義 町		×	
24	西 粟 倉 村		×	
25	久 米 南 町		×	
26	美 咲 町		×	
27	吉備中央町		×	
小 計		10	△3×14	

平成29年度 分離発注陳情 日程表

日 付	陳 情 者	行 先
7月11日(火)	旭電業(株)(松岡会長) (株)電気工営・(株)中電工・三恭電設(株)事務局	岡山県・岡山市 国土交通省(営繕・国道)
7月12日(水)	三恭電設(株)(瀬戸口副会長) (株)中電工・(株)報国電設	総社市・浅口市・高梁市 新見市・真庭市
	(株)電気工営(大賀副会長) 平松電気工事(株)・旭電業(株)	赤磐市・備前市 瀬戸内市・美作市



瀬戸内市へ陳情



総社市役所へ陳情



浅口市へ陳情

会員行政研修会

今年度の国や県の入札・契約制度と暴力団対応を研修！

平成29年6月29日(木)9時20分から11時30分まで、岡山プラザホテルにて
会員75名が出席し、恒例の「会員行政研修会」を開催しました。



聴講する会員



研修会会場



冒頭の挨拶：
大賀 副会長



司会：
犬養 技術委員



閉会の挨拶：
長門 技術委員長

研修テーマ

1. 国土交通省における最新の入札制度について

～平成29年度の入札・契約方針～

— 国土交通省中国地方整備局岡山営繕事務所 技術課 課長 向谷義弘 様 —

- | | |
|--|--|
| <p>①入札手続きの改善見直しについて</p> <ul style="list-style-type: none">・施工能力簡易確認型の試行〔新規〕・入札書と技術資料の同時提出対象工事の拡大〔範囲拡大〕 <p>②担い手確保に向けた見直しについて</p> <ul style="list-style-type: none">・ワーク・ライフ・バランス（WLB）等推進企業を評価する取組みの試行〔新規〕・地方自治体発注工事の工事実績評価〔対象工種の拡大〕・配置予定技術者評価の緩和〔対象技術者の拡大〕・若手技術者の雇用等〔評価方法見直し〕 | <p>③その他の見直しについて</p> <ul style="list-style-type: none">・ゴールドカード評価対象工事〔設定工事の適正化〕・低入札価格調査基準の見直し・同種工事の実績評価の見直し <p>④岡山営繕事務所の平成29年度事業概要について</p> <ul style="list-style-type: none">・官庁営繕の主要施策・官庁営繕で実施する予算・平成29年度の主要事業 |
|--|--|



国土交通省：向谷講師

2. 岡山県における今年度の建設工事の入札制度について

— 岡山県土木部都市局 建築営繕課 課長 有森達也 様 —

- | | |
|--|--|
| <p>①入札制度の区分・指名競争入札制度について〔復習〕</p> <p>②建築営繕課における発注実績</p> <p>③平成29年度の入札・契約制度の見直し</p> <ul style="list-style-type: none">・入札参加資格要件の見直し・総合評価方式の見直し・低入札価格調査制度の見直し | <p>④岡山県建築工事積算基準の見直し（電気工事の場合）</p> <ul style="list-style-type: none">・一般管理費等率の改定・標準歩掛りの「その他」の率の改定 <p>⑤岡山県ホームページの紹介</p> <p>⑥建築営繕課のPR</p> |
|--|--|



岡山県：有森講師

3. 暴力団情勢と対策等について

— 岡山県警察本部刑事部組織犯罪対策第二課
暴力団排除対策官 稲垣聡崇 様 —

- | | |
|---|---|
| <p>①企業対象暴力の現状と対策</p> <ul style="list-style-type: none">・指定暴力団の状況・反社会勢力による犯罪の取締りと排除・企業活動からの反社会的勢力の排除 | <p>②暴力団等に対する基本的要領</p> <p>③岡山県暴力団排除条例</p> <p>④不当要求の手口と対応</p> |
|---|---|



岡山県警察本部：稲垣講師

1級施工・受験準備講習会

受講者過去最多、資格取得は人材育成の切り札！

「平成29年度 1級電気工事施工管理技術検定試験・受験準備講習会」を開催しました。

県内各地から、そして鳥取県、島根県、広島県からも参加があり過去最多の延べ156名が受講しました。

講習会概要

講習名	講習日	受講者数	講師陣	場 所
学科講習	平成29年 5月15日(月)～ 5月17日(水) (3日間)	85名	延べ7名 (9科目)	コンベックス岡山
実地講習	平成29年 9月13日(水) (1日間)	71名	1名 (5科目)	

学科会場



受付中：福田・犬養 各委員



開講の挨拶：長門技術委員長



学科講習会会場



講師陣：
〔左〕松本講師 〔中央〕川崎講師 〔右〕青山講師



熱血指導：青山講師



鉄道、発電講義：松本講師

実地会場



受付中：中電工 田中さん



実地講習会会場



合格の極意直伝：河崎講師



設営、撤収：会員受講者の皆さん

平成30年度受験準備講習会の受講者募集(予定)！

今年も多数の参加をお願いします。

学科講習の詳細案内は2月中旬頃の予定です。

講習名	講習日	場 所
学科講習	平成30年 5月14日(月)～ 5月16日(水) (3日間)	コンベックス岡山
実地講習	平成30年 9月12日(水) (1日間)	

視察研修会

実際に起こりうる様々な危険を再現体感！



研修所と安全実習棟



施設概要説明



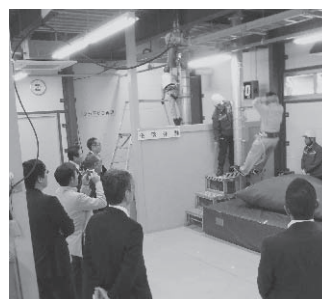
再現・体感の事前説明



低圧感電体験、
指先がビリビリ：
暁電業 鎌田部長



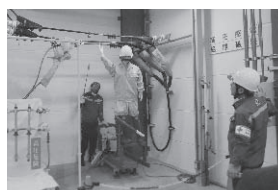
機械装置挟まれ再現：
旭電業 本郷常務



墜落体感



地上への落下再現



高圧感電再現



引込線被覆損傷再現、
音と火花発生



落下物衝撃体験：
オーコ 藤井社長

1 階部の主な再現・体感

- ①落下物衝撃体験：高さ約2mの位置から約100gのボルトを安全帽頂点に落下。
落下物に対する危険感受性を高め、安全帽装着の重要性を再認識。
- ②機械装置挟まれ再現：油圧式圧着工具に模擬指を挟み危険感受性を向上。
- ③墜落体感：柱高約50cmの位置から後ろ向きに転落。
不意に落下する際の恐怖感や地表衝突時の衝撃を体験し、危険感受性を深める。

2 階部の主な再現・体感

- ①低圧感電体験：乾湿両状態の指を受電部に触れ、電圧を変えながら感覚の違いを認識。
不注意や装具不良時等の感電への危険感受性を深める。
- ②引込線被覆損傷再現：被覆損傷させた引込線を湿潤させたあと感電させ、火、光を再現。
- ③高圧感電再現：人形を高圧充電線に接触させ、感電した際の音、光を再現して危険を実感。
高圧感電に対する危険感受性を深める。
- ④地上への落下再現：2階から人形を墜落。墜落景況と地上激突時の衝撃を再現し、高所作業の安全処置の重要性を再認識。

視察研修に参加して

旭電業株式会社 常務取締役 本郷哲朗

私は初めての当協会視察研修に参加させていただきました、この度は株式会社中電工様が研修所として広島市安佐南区に建設された『安全実習棟』を視察しました。

この施設は、我々の仕事で起きる様々の危険な状態を疑似的に作り、安全の意識を再確認してもらうために利用者の安全を確保したうえで体験してもらうための施設です。私も『低圧感電・墜落・挟まれ・落下物衝撃・回転機巻き込まれ・スレート屋根踏み抜き体験』など時間の許す限り体感してまいりました。電気工事屋として興味を持って体験できたのは、『感電・短絡』体験です、中でも活線作業で計器を交換している作業で起きうる低圧計器短絡再現体験です。目の前で電気溶接でもしたかのように凄い電気火花が飛び散り、顔面はもとより体の前面はおそらく大火傷するかの体験でした。その他にも色々体感実習があり、1日コース・半日コースと盛りだくさんあります。

私どもの会社でも、この施設で新入社員を中心に利用させていただいたことがあり、みなさまの会社でも安全意識の向上・再確認をする為にはこの疑似体験を通して行うのは大変有意義だと思います。

当協会の会員企業の皆様は、ちなみに無料で体験できるそうです、是非ご体験してみたいかと思いますが。（詳しくはホームページ等をご参考に。）

(一社)日本電設工業協会 全国会員大会(石川県)

全国から500名にも迫る会員が集結 金沢市で開催！

平成29年10月12日(木)午後3時から、金沢市のホテル日航金沢で「一般社団法人日本電設工業協会平成29年度会員大会」が会員企業など500名にも迫る参加者を得て盛大に開催されました。

当協会からは松岡会長ほか6名が出席しました。

会員大会に先立ち臨時総会及び理事会が開催され、山口前会長は顧問に、第10代会長に後藤清氏〔株関電工会長〕が就任されました。

大会においては、来賓として、小俣国土交通省北陸地方整備局長、谷本石川県知事、丸口金沢市長他が出席されました。

後藤新会長の冒頭の挨拶では「山口前会長と同様、皆様方のご指導とご鞭撻を頂きながら協会並びに電気設備工事業界の発展に向け努力していく、又、電設業界の働き方改革に向け、長時間労働の是正や適性工期の確保を図るとともに生産性向上への取組みを更に進め、引き続き新アクションプランを推進し、来年協会創立70周年に向け『夢と生きがいのある電設業界』を展開していきたい」と述べられました。

その後、『働き方改革』への対応について」をテーマに運営委員会「働き方改革」対応タスクチーム今泉副主査から、また、「太陽光発電所での降雪期の発電量、及び強風対策事例について」と題し、笹川富山電業協会技術委員会副委員長から基調報告がなされ、引き続き、新アクションプランに挙げる5つの重点目標を柱とする会員大会決議案が江川運営委員長から提案され、満場一致で採択して会員大会は終了しました。

大会終了後、小田禎彦(株)加賀屋相談役兼石川県観光連盟理事長から「おもてなしの心～加賀屋の流儀～」と題した記念講演があり、その後、会員懇親会が行われて幕を閉じました。

今年の会員大会は、平成30年10月11日(木) JRホテルクレメント高松（高松市）にて開催されます。



大会会場



冒頭の挨拶：
後藤会長
〔株関電工会長〕



懇親会：伝統芸能金沢芸妓



出席した会員



記念講演：
小田 加賀屋相談役



懇親会：県無形文化財御陣乗太鼓

国土交通省意見交換会

国交省へ業界から多数の要望！

平成29年7月5日(水)午後3時00分から、広島市のKKRホテルにおいて、国土交通省中国地方整備局営繕部及び建政部（出席者11名）、（一社）日本電設工業協会中国支部（出席者6名）及び（一社）日本空調衛生工事業協会中国支部（出席者10名）との間で、第15回意見交換会が開催されました。

冒頭、寶来駿一（一社）日本空調衛生工事業協会中国支部長及び板橋薫 国土交通省中国地方整備局営繕部長が、挨拶されました。

当協会から長門副会長が出席し、意見要望を述べました。

終わりに、小畑博文（一社）日本電設工業協会中国支部長が挨拶され閉会しました。



意見交換会会場



挨拶する小畑支部長



出席した長門副会長

中国地方整備局から情報提供及び説明

- ①局におけるコンプライアンスの取組み
- ②建設産業を取り巻く現状と課題等
- ③官庁営繕の取組み
- ④積算関係の取組み

業界要望事項（抜粋）

- ①働き方改革実現に向けて
- ②「建設キャリアアップシステム」について
- ③工事半ばで入場した担当技術者のコリンス登録の有効活用について
- ④地域の公共工事物件の発注見通しについて
- ⑤安定的な公共工事の確保と平準化について
- ⑥入札における落札決定までの期間短縮について

暴力追放推進・安全無災害運動

暴力追放や銃器根絶を推進 県民大会！

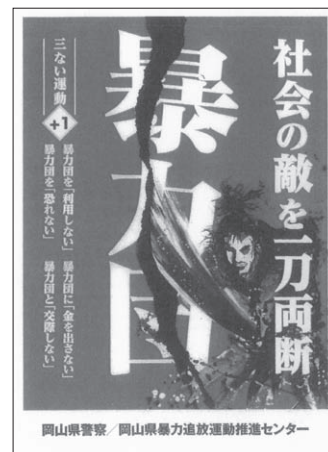
平成29年11月8日(水)午後1時30分から(公財)岡山県暴力追放運動推進センター主催による「平成29年岡山県暴力追放・銃器根絶運動推進県民大会」がおかやま未来ホールで開催され、関係者約500名が暴力や銃器のない安全なまちづくりへの機運を高めました。

当協会から2名が出席しました。

同センター名誉会長の伊原木知事が岡山市で発生した指定暴力団幹部射殺事件などに触れ「暴力団排除と関係遮断を進め、安全で安心な社会づくりを進めたい」と述べました。

その後、西郷岡山県警察本部長による「暴力団対策・銃器対策の現状と今後の取組」について説明がありました。

第2部として、広島弁護士会の中井氏による『暴力団事務所の使用差止請求訴訟について』と題して講演がありました。



暴力追放ポスター



暴力追放県民大会会場



名誉会長：伊原木知事



暴力団の現状：西郷県警本部長

『リスクにチャレンジ！岡山』運動推進大会！！

平成29年10月3日(火)午後1時からおかやま未来ホールにおいて、県下各地から関係者が参加して「第8回『リスクにチャレンジ！岡山』運動推進大会」(主催：建設業労働災害防止協会岡山県支部)が開催され、当協会から3名が出席しました。

冒頭、蜂谷岡山県副支部長が「店社・作業所において、経営者及び関係者全員がリスクアセスメントに積極的に取り組み、労働災害を撲滅しなければならない。」と定着、実践への決意を表明し、続いて金田厚生労働省岡山労働局長他より祝辞があり、建設業労働災害防止協会岡山県支部代表が大会宣言を読み上げリスクアセスメントに取組む決意を採択しました。

その後、企業によるリスクアセスメントの取り組み状況の発表と「建設業の労働災害防止のために！」と「リスクアセスメントの実践のために！」と題した講演があり、盛会裏に終了しました。

スローガン

**“知恵を出し合いリスクの低減
作ろうみんなの安心職場！”**



推進大会会場



開会の挨拶：
蜂谷副支部長



祝辞：
金田岡山労働局長

JECA FAIR 2017 ～第65回電設工業展～

大盛況のうち閉幕 10万人超え来場！

平成29年5月17日(水)に「JECA FAIR 2017 ～第65回電設工業展～」は、東京ビッグサイトで「人を守る 暮らしを守る 電設技術が未来を守る」のテーマのもと、出展社数247社（うち海外企業15社）が一堂に会して開催されました。

開催期間3日間の来場者は104,382名に上り、大盛況となりました。

当協会からは、会長が出席しました。



大盛況



各電設メーカー出展

ゴルフ交流会

活発な会員相互の交流

第17回ゴルフ交流会

平成29年6月8日(木)午前8時24分から岡山金陵カントリークラブにて、第17回ゴルフ交流会を開催しました。

会員、賛助会員27名が参加し、古豪と新人が競い合いながら、会員相互の交流を深めました。



第17回交流会参加の会員



〔左〕第3位：長門さん
〔中央〕優勝：瀬戸口さん
〔右〕準優勝：佐藤さん

第18回ゴルフ交流会

平成29年10月31日(火)午前8時24分から岡山金陵カントリークラブにて長門副会長の送別を兼ねて、第18回ゴルフ交流会を開催しました。

会員、賛助会員30名が参加し、晴天無風の中、好プレー珍プレーを発揮しながら会員相互の交流を深めました。

見事、優勝した瀬戸口さんは3連覇を達成しました。



第18回交流会参加の会員



〔左〕準優勝：同前さん
〔中央〕優勝：瀬戸口さん
〔右〕第3位：板谷さん

通常総会

第7回通常総会・懇親会

平成29年6月14日(水)午後5時からホテルグランヴィア岡山にて、第7回通常総会を開催しました。

当日の出席者35名（他に委任状出席18名）により、次の議案を審議し議決しました。

総会の後、恒例の懇親会を開き、会員相互の交流をしました。

[議 事]

第1号議案 平成28年度 事業報告案承認の件

第2号議案 平成28年度 決算案承認の件

第3号議案 入会及び退会規程改正案承認の件

[報告事項]

①平成29年度 事業計画の件

②平成29年度 予算の件

③平成28年度 会員大会決算の件



第7回通常総会会場



冒頭挨拶：松岡会長



懇親会乾杯：延原顧問



懇親会会場



懇親会司会：櫻間総務委員



懇親会締め挨拶：
瀬戸口副会長

事務局だより

役員に異動！

下記の方がご退任されました。

当協会の発展のため、多大なご尽力を賜り、お礼と感謝を申し上げます。

今後のご健勝をご祈念申し上げます。

- | | | | |
|--------------|---------------|----|-----|
| ・平成29年6月14日 | 福田信義様(前、会長) | 顧問 | ご退任 |
| ・平成29年9月30日 | 牧野雅仁様(マキテック株) | 理事 | ご退任 |
| ・平成29年10月31日 | 長門武文様(株中電工) | 理事 | ご退任 |

会員動向

平成30年1月1日現在の会員数

正会員 55社 賛助会員 29社



退任挨拶：福田顧問



研修所全景



研修所から北を望む〔広島市内〕

一般社団法人 岡山県電業協会

事務局 〒700-0953 岡山市南区西市430

電話 (086) 244-4838 番 FAX (086) 245-9136 番

E-mail info@okadenkyo.or.jp URL <http://www.okadenkyo.or.jp>

編集発行人 総務委員会



この印刷の一部には水質保全に有効な
水なし印刷方式を採用しています。



この印刷には、環境にやさしい
植物油インキを使用しています。



古紙/パルプ配合率100%再生紙
を使用しています。